

Program

Stage 1

フラッシング・ウインズ 作/ Jan Van der Roost
Flashing Winds

ウェールズの歌 作/ Albert Oliver Davis
Songs Of Wales

第1樂章：我が父なる國・ルドランの湿原 Land Of My Fathers The Marsh Of Rhuddlan
第2樂章：冒險者グエン Venture Gwen
第3樂章：フォークダンス・あげひばり・ローンダの谷 All The Day(Folk Dance)·Rising Of The Lark·Vale of Rhondda

マーチ「ブルースカイ」 作/高木 登古
March "Blue Sky"

吹奏楽のための「神話」～天の岩屋戸の物語による～ 作/ 大栗 裕
A Myth For Symphonic Band



Stage 2

映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」より 作/ Klaus Badelt 編/ Michael Brown
Music From Pirates Of The Caribbean

The Medallion Calls / The Black Pearl / One Last Shot / He's A Pirate

演歌メドレー 作/ 遠藤 実・中村 泰士・見岳 章 編/ 小島 里美
Medley Of ENKA

北国の春 / 北酒場 / 川の流れのように

アメージング・グレース 編/ 八木澤 敦司
Amazing Grace

ミュージカル「ミス・サイゴン」より 作/ C.M.Schönberg , A.Boublil 編/ Johan de Meij
Miss Saigon a Symphonic Portrait

Overture-Saigon,April 1975 / The Movie In My Mind / The Morning Of The Dragon /
Please / Appassionato / I Still Believe

団員募集

コンセール・リベルテ・オルケストル・ドゥアルモニーでは団員を募集しております。
私達と一緒に演奏しませんか？高校生以上で練習に意欲的に取り組んで
いただける方であれば、ブランクのある方も初心者の方でもOKです。
※高校生の場合は、保護者の承諾書が必要です。

●詳しくは当団ホームページをご覧ください。
<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~liberte/>

●メールでのお問い合わせ
kengaku_liberte@yahoo.co.jp (人事/中島)

※このホームページは、クラシック音楽情報センター(<http://www.musicinfo.com>)
より、サーバーの無償使用の提供を受けています

Designed by E.Watanabe

Staff and Member

団長	渡辺 俊久
副団長	坂本 真一朗
常任指揮者	手島 渉
団員指揮者	渡辺 俊久
運営	井上 裕美 木村 洋子 鈴木 亜由美 中島 純子 中田 英夫 西澤 諭 渡辺 江里 瀧澤 瑞美
演奏会企画リーダー	瀧澤 瑞美
選曲リーダー	齊藤 功
演奏会会計	山本 祥子

Flute	Horn
内澤 望実	阿部 美由紀
坂本 菜穂子	宇佐見 あす香
瀧澤 瑞美	金築 昌子
中島 純子	田村 審健
中島 悠未子	原 奈津実
西澤 諭	松井 健
渡辺 俊久	

E♭ Clarinet	Trombone
近藤 昌宏	荒川 司
	菊野 大志
B♭ Clarinet	坂本 真一朗
井上 裕美	友田 秀紀
工藤 有美子	山本 祥子
田中 陽子	
照井 知美	
外川 友美	
依田 紗子	

Euphonium	Tuba
木村 洋子	青木 雄一
渡辺 江里	青木 裕介
	遠山 義人

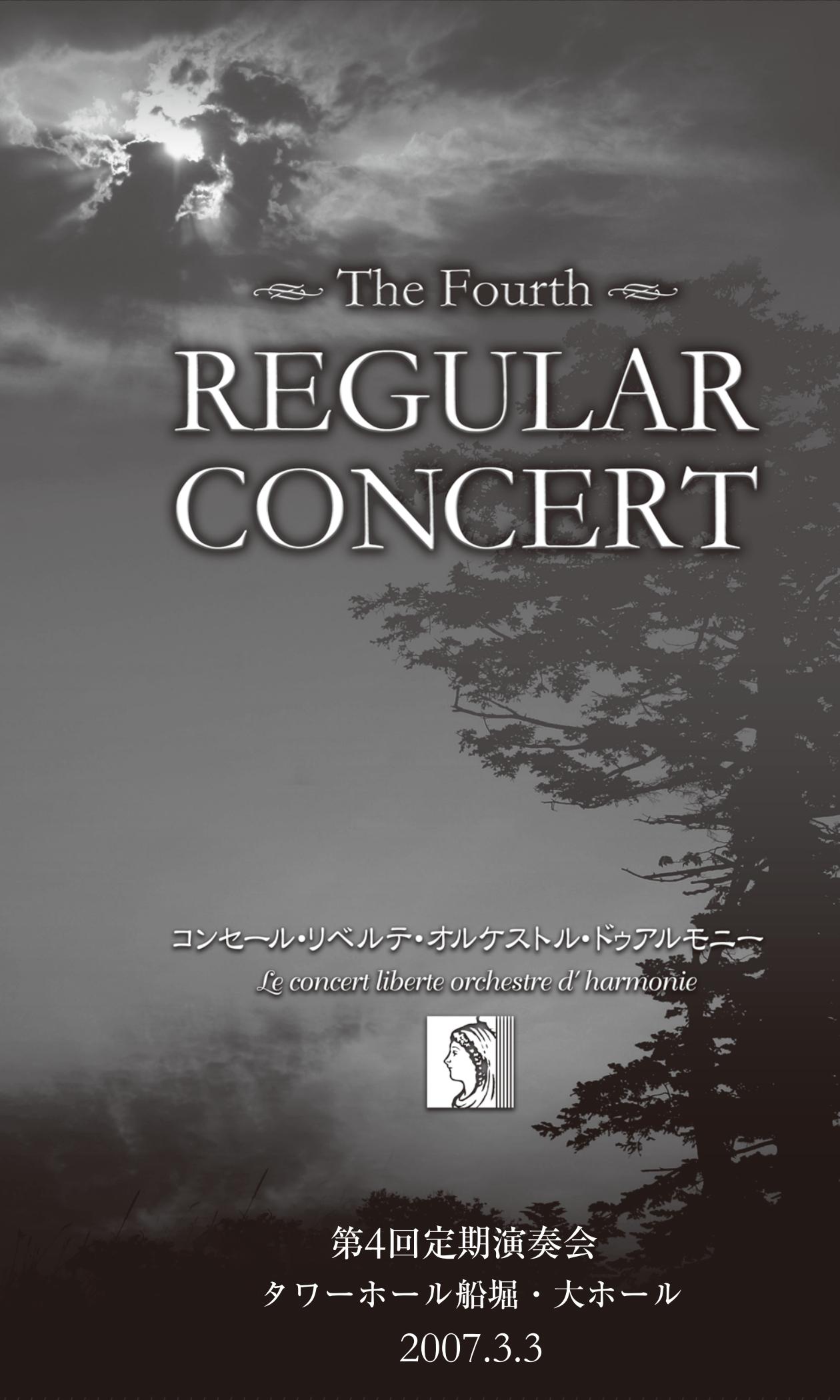
Bass Clarinet	Bassoon
石井 智子	朝倉 智幸
	黒田 涼

Alto Saxophone	Percussion
蒲田 茜美	秋葉 竜
岸田 洋一	伊藤 亜樹
寺岡 宏	小澤 奈穂子
渡部 友貴	鈴木 亜由美
	原田 治
	堀田 耕一郎

Tenor Saxophone	Piano
伊藤 直行	川島 宏子
中田 英夫	

Bariton Saxophone	Emcee
海野 亘	遠藤 陽子

Trumpet	
尾崎 文紀	
齊藤 功	
高橋 希代子	
原田 幸一郎	五十音順敬称略
堀江 和紗	
森 純里子	
山田 仁美	



コンセール・リベルテ・オルケストル・ドゥアルモニー

Le concert liberte orchestre d'harmonie



第4回定期演奏会

タワーホール船堀・大ホール

2007.3.3

Greeting

団長 渡辺 俊久 Toshihisa Watanabe

本日は我々コンセル・リベルテ・オルケストル・ドゥアルモニーの第4回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

当団は2001年の設立以来、今年4月で活動7年目になります。その間、吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストへの出場、また定期演奏会の開催を行なって参りました。他には昨年10月にカトリック豊島教会バザーでのミニコンサート開催など、演奏披露の場を広げています。

去年より常任指揮者に就任した手島 渉氏とともに、より良い音楽を提供することを目標とし、色々な試みを行なっています。団員数も増えたことで充実した編成となり、これまで挑戦できなかった曲にも取り組むことができるようになりました。

第1部はこれまでの定期演奏会同様、吹奏楽オリジナル曲を集めてみました。中でもストーリー性豊かな曲を選んであります。情景を思い浮かべながら聞いていただければ幸いです。

また第2部では映画音楽からミュージカル、さらには演歌までと、様々なジャンルの曲を演奏できる吹奏楽ならではの選曲となっています。演奏会だと肩肘張らず気楽に音楽を楽しんでください。

最後になりましたが、日頃当団に対してご協力頂いている方々に厚く御礼を申し上げます。今後ともよろしくお願いします。

常任指揮者 手島 渉 Wataru Teshima

群馬県高崎市出身、東京コンセルヴァトール尚美(現東京ミュージック&メディアアーツ尚美)卒業。オーボエを似鳥健彦、榎原誠の各氏に、指揮法を坂本和彦氏に師事。

現在、関東甲信越を中心に吹奏楽指導・指揮・マーチング指導の他、音楽雑誌をはじめ、各協会機関紙等への執筆活動や、コンテストの審査員も務めるなど、幅広い活動を展開。

全日本学校音楽研究会講師、日本吹奏楽指導者協会認定指導員、日本マーチングバンド・パントワーリング協会準公認指導員、財団法人音楽文化創造生涯学習音楽指導員、日本管打・吹奏楽学会会員。



Program Notes

フラッシング・ウインズ

ヴァン=デル=ロース特は、1956年、ベルギーのデュッフェルに生まれ、レメンズ音楽院でトロンボーン、音楽史、音楽教育等を学び、さらにゲントの王立音楽院では、和声、対位法、初見演奏、トロンボーン、音楽史、フーガ、合唱指揮、作曲の8科目で1位を得て卒業した秀才です。卒業と同時にレメンズ音楽院の教授となり、音楽院のバンドの指揮にも当たっています。管弦楽曲や合唱曲のほか、吹奏楽曲も多く作曲。現在日本でも人気の高い作曲家であり、「カンタベリーコラール」「オリンピカ」「モンタニヤールの詩」「スバルタカス」等の作品で知られています。

この曲はベルギーの青少年バンドの委嘱により、1988年に作曲されました。ティンパニーと金管による力強いファンファーレに始まり、金管の躍動的なテーマの後、それに続く木管による流れるような美しいメロディーが奏でられ、壯麗なエンディングを迎えます。世界中で愛されているこの曲は、これから始まる演奏会の期待を高めるオープニングにふさわしい曲です。

ウェールズの歌

プラスバンド発祥の地、イギリスのウェールズ地方の雄大な景色を思い浮かばせる「ウェールズの歌」は、アルバート・オリバー・デイヴィスにより作曲されました。1920年オハイオ州クリーブランドに生まれ、オハイオ州立大学マーチングバンドの編曲者として多くの作品を残しています。自然に恵まれた美しい風土のウェールズには美しいメロディの民謡があります。その中から6曲の有名なメロディを組み合わせて作られています。日本人の私たちにもなぜか懐かしさえ思い浮かばせる美しい旋律。美しいウェールズ地方の風景を想像しながらお聞きください。

マーチ「ブルースカイ」

2007年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲のひとつであるこの曲は、タイトルとおりの爽やかで青い空をイメージした、明るく心弾むマーチです。

作曲者の高木登古は1969年東京都府中市に生まれ、都立永山高等学校に入学。吹奏楽部入部後は打楽器と学生指揮を担当。吹奏楽全般を馬場正英氏に師事。現東京ミュージックメディアアーツ尚美を卒業。作曲・編曲は独学で学び、現在は高崎市に在住しています。主な作品として、東京民謡の主題による「祭りの情景」、その他、管弦楽曲からの吹奏楽編曲があります。

吹奏楽のための「神話」～天の岩屋戸の物語による～

作曲者の大栗裕は1918年大阪で生まれ、高校からホルンを演奏しながら独学で作曲を学びました。日本の音楽を素材として作曲を多くしており、民族音楽を作曲の基としていたハンガリー生まれのバルトークと共に通していた点が多かったところから、「東洋のバルトーク」または「日本のバルトーク」と呼ばれました。

この作品について、作者は次のように述べています。

「天岩屋戸に天照大神（アマテラスオオカミ）が身をかくしたために、世界は真暗闇になった。八百万（ヤオヨロズ）の神々が天安河原（アメノヤスカワ）に集まり相談し、そして常世（トヨ）の長鳴鳥（ナガナキドリ）を大きく鳴かせ、天鈿女命（アメノウズメノミコト）が裸で踊り出す。その踊るさまに神々はどっとばかりはやして、果てにその狂態に、爆笑の渦がまき起こる。不審に思った天照大神が、岩屋戸のすき間から覗き見するのをまちかねた手力男命（タジカラオノミコト）が天照大神の手を引いて連れ出す。そして、世界は再び、もの光明をとりもどす、という話である。音楽は、この物語をかなり即物的に表現しようとするが、如何なるものであろうか。……」（音楽之友社出版楽譜より）。

曲は大きく分けて緩・急・緩の三つの部分からなっています。混沌とした霧闇気と天照大神が天岩屋戸に隠れ、世の中が真っ暗になってしまった様を現した冒頭部分、天鈿女命の踊りと神々の狂態の様子、天照大神がその様子を不審に思う様の部分へと続き、天照大神を外に連れ出すことに成功し、世界がまた光を取り戻した歓びのテーマが高まり、張りつめた感じでクライマックスをを迎えます。

映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」より

2003年公開、ディズニーランドの人気アトラクション『カリブの海賊』を題材にして、映画化したアクション・アドベンチャー大作。

時代は17世紀ごろ。財宝を盗んだことで呪いにかかる悪魔の海賊キャプテン・バルボサは、呪いを解く鍵を握る娘エリザベスを連れ去ります。その彼女を救う為、彼女に対し密かに恋心を抱いている鍛冶屋の青年ウィルは、一匹狼の海賊ジャック・スパロウと手を組み、海賊船ブラックパール号を追いかけます。

魔の海を舞台にひとつのメダルを巡って展開するミステリアスな運命の物語をドラマチックに演出した劇中のエキサイティングな音楽を、メドレー形式でお楽しみください。

演歌メドレー

メドレーの名のとおり、昭和歌謡の名曲がさまざまな楽器の音色でどんどん現われます。

まずは1979年に千昌夫の歌でヒットした、ふるさとを歌った演歌の決定版「北国春」。続いて1982年に細川たかしの歌で大ヒットし、日本レコード大賞などを受賞した名曲「北酒場」。最後は美空ひばりの最後のシングル曲となった「川の流れのように」でしめくくります。演歌は日本人の心を独特の歌唱法や歌詞で深く描き、その「日本ならでは」の美しい旋律は、時が流れても色褪せることはありません。

歌詞を知っている方、メロディーを知っている方は、是非一緒に歌ってみてください。

アーミング・グレース

この曲の作曲は1760～70年あたりと言われており、オリジナルのメロディは黒人靈歌、イギリスの民謡など諸説のある、作曲者不明の贊美歌です。歌詞は、ジョン・ニュートンという神父によって作されました。本人が父親と奴隸貿易に携わっていた頃、あるとき嵐に見舞われ、死に直面して初めて神の存在を感じ、以来彼は信仰を深めていったそうです。そんな彼が「こんな愚かな、どうしようもない自分をも神は救つて下さった」という「おどろくばかりの恵み」を歌ったのが『アーミング・グレース』です。その神秘的な旋律と深みのある詩は世界中の人々に感動を与え多くの歌手にカバーされたり、映画『メンフィス・ペル』や、TVドラマ『白い巨塔』のメインテーマ曲になり幅広く知られています。

本日演奏する編曲は、神々しい光が差し込んでくるようなイントロで始まり、管楽器による美しいハーモニーが楽しめるように作られています。神秘的で透明感のあるコラールをお楽しみください。

ミュージカル「ミス・サイゴン」より

ミス・サイゴンは、イギリス、アメリカなどで公演される超大作ミュージカル。日本では1992年4月に帝国劇場で開幕。キム役には、当時アイドルであった本田美奈子が抜擢され、劇中に実物大のヘリコプターが登場するなど話題を呼びました。

時は1975年4月。ベトナム戦争も佳境に入り陥落寸前の街サイゴンでは、毎晩戦いに疲れ果てたアメリカ人兵士が一夜の快楽を求め街をうろついていました。彼らにすがることでしか生活の糧を得ることができぬサイゴンの女性達はキバレーで働き、兵士と共に夜な夜などんちゃん騒ぎを繰り広げます。そんな中、アメリカ大使館に勤めるクリスはベトナム少女キムと出会ったことで「人間らしさ」、「人を愛し、愛されることの喜び」を知ります。永遠の愛を誓った二人でしたが、米軍の撤退により引き裂かれてしまいます。

クリスは帰国後に、キムを忘れないままアメリカ人の女性エレンと結婚。しかし、毎夜ベトナムの悪夢にうなされ続けます。ベトナムではキムがクリスの子供タムと帰りを待ちわびている一方、クリスの妻エレンは彼が何かを隠していると感じつつ、それでもクリスを信じ続けます。キムとの子供の存在を知ったクリスは、エレンと親友のジョンと共にキムの住むバンコクへ渡りますが、クリスはキムを探しに街に出てしまい、ホテルにクリスを訪ねてきたキムと入れ違ってしまいます。そこにいたのは、クリスの妻エレン。そこではじめてキムはクリスが結婚していることを知ります。深い絶望の縁で、キムはタムを引き取るよう詰め寄りますがエレンに拒絶されてしまい、タムをアメリカ人にすることだけを心の支えにしていたキムは、最後の手段を実行しようと決意します。

吹奏楽にアレンジされたこの曲の始まりでは打楽器と金管楽器による力強い音色と、木管楽器による雑踏と混乱を表しているかの様な緊張感のある音色が聞こえています。どこか物寂しいメロディーが流れ、続いて、陥落から3年後のサイゴンの街での盛大かつ厳肅なパレードの模様を鋭く軽快な響きで表現しています。クリスがバンコクへ来ているという知らせを聞き喜びに胸を震わすキムの心を表したメロディーは一筋の希望の光が見えたかのように優しく柔らかく流れ、キムとエレンのクリスへの愛を競う切ない情景からクライマックスへと向かっていきます。